

- 問1 江戸幕府が東海道などの五街道を整備し、宿場や関所を設けた主な目的と、その制度上の背景についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--------------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を全国に広めるために、宣教師の移動を公的に保護するため | 2. 海外からの侵攻に備え、幕府直属の軍隊のみが迅速に移動できる専用路とするため | 3. 参勤交代などによる大名の移動を円滑にし、幕府による全国統治を安定させるため | 4. 貨幣経済を抑制するために、物資の流通を最小限に留める検問を行うため |
|--|--|--|--------------------------------------|
- 問2 江戸時代後期に伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」について、その作成の背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 樺太が島であることを確認するために北方を重点的に調査し、ロシアとの国境を画定させるための軍事用地図を作成した。 | 2. 実際に自分の足で全国を歩き、歩幅を一定に保つなどの工夫をしながら緻密な測量を行い、科学的な日本地図を完成させた。 | 3. 西洋から輸入した世界地図を翻訳・編集することで、日本周辺の海域や島々の位置関係を整理した地図を作成した。 | 4. 幕府の命令により全国の諸大名から提出された領内図を繋ぎ合わせることで、全国規模の白地図を短期間で作成した。 |
|--|---|---|--|
- 問3 江戸時代、諸藩が領内の農民から集めた年貢米や特産物を大坂などの都市に運び、それらを売却して貨幣に替えるために設置した、倉庫と屋敷を兼ねた施設を何といいますか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 関所 | 2. 本陣 | 3. 問屋場 | 4. 蔵屋敷 |
|-------|-------|--------|--------|
- 問4 四国地方の北部、現在の愛媛県に位置し、江戸時代の元禄期から昭和時代にかけて開発が進められた日本屈指の銅山を何といいますか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 生野銀山 | 2. 佐渡金山 | 3. 足尾銅山 | 4. 別子銅山 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 徳川吉宗が「公事方御定書」を制定した目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 朝廷が政治に関与することを禁じ、幕府が全国の支配権を握っていることを明確に示すため | 2. 大名の配置や婚姻を制限することで、幕府に対する反乱を未然に防ぎ、軍勢力を抑え込むため | 3. 裁判の基準を明確に定め、役人の独断による不公平な判決を防ぎ、司法制度を整えるため | 4. 農民の日常生活を細かく規定することで、農業生産に専念させ、年貢の徴収を安定させるため |
|--|---|---|---|
- 問6 江戸時代後半、幕府の命令を受けて日本全国の沿岸部を実際に歩いて測量し、西洋の科学的な手法を取り入れることで、当時の世界水準に匹敵する極めて精巧な日本地図を完成させた人物は誰ですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 杉田玄白 | 2. 間宮林蔵 | 3. 伊能忠敬 | 4. 本居宣長 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 田沼意次が推進した、商工業者を組織化する政策の背景と目的として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 長崎での貿易を完全に禁止するために、貿易に関わる商人の組織を解散させ、幕府による直接管理を徹底した。 | 2. 商工業者に独占的な営業権を認める代わりに税を徴収し、商業の発展を利用して幕府の財政を立て直そうとした。 | 3. 外国からの輸入品が国内に流通するのを防ぐため、特定の商人にのみ販売を許可し、海外文化の流入を遮断した。 | 4. 商工業者の自由な競争を促すことで商品の価格を下げ、飢饉に苦しむ農民に安く物資を供給しようとした。 |
|---|--|--|---|
- 問8 江戸時代、河村瑞賢によって整備された、北陸地方や日本海沿岸の年貢米・特産物を、下関を経由して瀬戸内海から大阪へ運んだ海上輸送の経路を何と呼びますか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|----------|
| 1. 南海道 | 2. 五街道 | 3. 東廻り航路 | 4. 西廻り航路 |
|--------|--------|----------|----------|
- 問9 江戸時代の交通網において、幕府が街道に一定の間隔で「宿場」を置き、参勤交代を支える仕組みを整えた主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 鉄道網を全国に張り巡らせ、蒸気機関を用いた物資の大量輸送を幕府が主導して行うため。 | 2. 航空路の安全を確保するために、各地に高い目印となる建物を配置して旅人の道しるべとするため。 | 3. 大名の行列が宿泊や休憩を行う拠点を確保し、江戸と地方の連絡や軍事的な移動を円滑にするため。 | 4. 農民の自由な移動を全面的に認めることで、地方の特産品を日本橋に集中的に流通させるため。 |
|--|--|--|--|
- 問10 江戸時代、日本の将軍が代わる時期などに合わせて、祝賀などを目的に朝鮮から派遣された外交使節を朝鮮通信使といいます。この外交実務において、地理的な条件から朝鮮との窓口としての役割を一貫して担い、貿易や外交交渉を仲介した藩はどこですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 薩摩藩 | 2. 松前藩 | 3. 長州藩 | 4. 対馬藩 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問11 豊臣秀吉の死後、実権を握ろうとする徳川家康が反対勢力を退け、日本を統治する体制を整える大きな転換点となった、1600年に発生した戦いの名称を選択してください。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|---------|----------|
| 1. 桶狭間の戦い | 2. 関ヶ原の戦い | 3. 大坂の陣 | 4. 長篠の戦い |
|-----------|-----------|---------|----------|
- 問12 江戸時代の改革を記した年表において、飢饉対策の「困米」や、旗本・御家人の借金を帳消しにする「棄捐令」などが実施された時期の政治を担当していた人物は誰ですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 水野忠邦 | 2. 松平定信 | 3. 田沼意次 | 4. 徳川吉宗 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 島原・天草一揆において、一揆軍が宗教的な結束を強めることとなった直接的な要因と、その結果として幕府がとった対応を述べた文として適切なものはどれか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 領主がキリスト教を保護して年貢を軽くしたこと、他地域からキリスト教徒が流入して人口が急増したため、幕府は島原・天草地方を幕府直轄領として管理した。 | 2. 幕府が仏教への改宗を命じる一方で、キリスト教徒には重い年貢を免除する懐柔策をとったため、これを不服とする仏教徒が蜂起し、幕府はキリスト教を国教とした。 | 3. 鎖国の緩和を求めるキリスト教徒たちが海外勢力と結託して武力攻撃を仕掛けてきたため、幕府は貿易を完全に廃止し、国内の寺院をすべて破壊する政策をとった。 | 4. 領主が信仰を捨てない者に対して厳しい拷問を加えるなどの迫害を行ったため、農民たちはキリスト教のもとに団結し、幕府は禁教を徹底するためオランダ船以外の来航を禁止した。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 参勤交代などによる大名の移動を円滑にし、幕府による全国統治を安定させるため	江戸幕府は、全国の諸大名を統制するために参勤交代を義務付けました。五街道の整備は、大名が江戸と領地を往復するための交通網を確保し、幕府の威光を全国に示す狙いがありました。また、関所を設けることで「入り鉄砲に出女」を厳しく監視し、反乱の防止や秩序の維持を図りました。
問2	答え 2 実際に自分の足で全国を歩き、歩幅を一定に保つなどの工夫をしながら緻密な測量を行い、科学的な日本地図を完成させた。	伊能忠敬は50歳を過ぎてから天文学や測量術を学び、幕府の許可を得て私費を投じながら測量を開始しました。彼は天体観測によって緯度を測定し、同時に地上での歩測や測量器具による計測を組み合わせることで、極めて高い精度の地図を作り上げました。樺太の調査を行い島であることを確認したのは、伊能の弟子筋にあたる間宮林蔵であり、伊能の地図作成とは目的や範囲が異なります。
問3	答え 4 蔵屋敷	江戸時代の諸藩は、藩の財政を維持するために、領内で集めた年貢米や特産物を都市部へ送りました。これらを保管し、商人を介して換金するための拠点として大坂などに設置されたのが蔵屋敷です。問屋場は宿場における人馬の継ぎ立てを行う場所、本陣は公家や大名が宿泊する施設を指します。
問4	答え 4 別子銅山	愛媛県にあるこの鉱山は、住友家によって経営され、江戸時代から昭和にかけて長期間にわたり日本の経済を支えました。特に江戸時代には産出された銅が日本の主要な輸出資源となりました。新潟県の佐渡金山や兵庫県の生野銀山とは、産出される鉱物や場所が異なります。
問5	答え 3 裁判の基準を明確に定め、役人の独断による不公平な判決を防ぎ、司法制度を整えるため	享保の改革において吉宗は、合理的かつ効率的な政治を目指しました。公事方御定書を制定した背景には、それまで曖昧だった刑罰の重さや裁判の手順を法的に明文化することで、裁判のスピードを上げるとともに、役人の主観による不公平な裁きをなくするという意図がありました。これにより、江戸幕府の法秩序がより強固なものとなりました。
問6	答え 3 伊能忠敬	50歳を過ぎてから天文学や測量術を学んだこの人物は、1800年から約17年をかけて全国を測量しました。作成された「大日本沿海輿地全図」は、当時の幕府が国防上の理由から正確な海岸線を把握する必要があったために命じられたものです。選択肢の間宮林蔵は樺太（サハリン）が島であることを確認した人物、杉田玄白は『解体新書』を著した人物です。
問7	答え 2 商工業者に独占的な営業権を認める代わりに税を徴収し、商業の発展を利用して幕府の財政を立て直そうとした。	老中を務めた田沼意次は、農業中心の年貢収入に頼るだけでなく、商業の活力を政治に取り入れようしました。株仲間を積極的に公認して奨励し、そこから得られる運上金などの税収を増やすことで、幕府財政の再建を図りました。また、長崎貿易においても銅の輸出を増やすなど、積極的な経済政策を展開しました。
問8	答え 4 西廻り航路	江戸時代中期、経済の発展に伴い大量の物資を安く運ぶ必要が生じました。河村瑞賢は、日本海側から下関を経由して瀬戸内海を通り、当時の経済の中心地であった大阪へ至る「西廻り航路」を確立しました。これにより、北日本や北陸の物資が安定して供給されるようになりました。
問9	答え 3 大名の行列が宿泊や休憩を行う拠点を確保し、江戸と地方の連絡や軍事的な移動を円滑にするため。	幕府は参勤交代の義務化に伴い、大名が多人数の行列を連れて安全に移動できる環境を整える必要がありました。宿場には本陣や脇本陣といった大名用の宿泊施設が置かれ、荷物を運ぶための人馬の交代を行う場所としての役割も果たしました。これにより、幕府は全国の政治的・経済的な統制を維持することができました。
問10	答え 4 対馬藩	豊臣秀吉による朝鮮出兵で悪化した関係を修復するため、徳川家康は朝鮮との国交回復を急ぎました。地理的に朝鮮半島に近い対馬（現在の長崎県）を治めていた宗氏（対馬藩）が、幕府の命を受けて交渉の窓口となり、その後の外交実務や貿易を独占的に担うこととなりました。
問11	答え 2 関ヶ原の戦い	この戦いは、徳川家康を中心とする東軍と、石田三成を中心とする西軍が激突したもので、「天下分け目の戦い」と呼ばれます。家康はこの戦いに勝利することで全国の諸大名への支配力を強め、のちの江戸幕府成立に向けた決定的な優位を確立しました。
問12	答え 2 松平定信	松平定信は徳川吉宗の孫にあたり、吉宗の「享保の改革」を理想とした「寛政の改革」を行いました。困米による飢饉対策や、武士を救済するための棄捐令、朱子学以外の講義を禁じる寛政異学の禁など、保守的で厳格な政治を進めました。選択肢にある徳川吉宗は享保の改革、田沼意次は商業重視の政治、水野忠邦は天保の改革をそれぞれ主導しています。
問13	答え 4 領主が信仰を捨てない者に対して厳しい拷問を加えるなどの迫害を行ったため、農民たちはキリスト教のもとに団結し、幕府は禁教を徹底するためオランダ船以外の来航を禁止した。	島原・天草地域を支配した大名は、飢饉が続く中でも厳しい年貢の取り立てを強行し、さらにキリスト教徒に対して棄教を迫る過酷な迫害を行いました。これに反発した人々は宗教的な連帯感を持って一揆を起こしました。幕府は一揆の鎮圧後、キリスト教の広まりを防ぐためにポルトガル船の来航を禁止し、1641年には平戸のオランダ商館を長崎の出島に移すなど、鎖国体制を確立させました。